

国際協力

2024.4
春号
No.79
JICA 駒ヶ根

45th Anniversary KTC! ~地域の皆さまとともに~

1979年に開設された駒ヶ根訓練所は2024年で45周年を迎えました。
これまで当訓練所を支えていただいた多くの皆さまに心よりお礼申し上げます。

開設45周年に寄せてお祝いメッセージが届きました！

駒ヶ根市長 ^{いとう ゆうぞう} 伊藤 祐三様



駒ヶ根青年海外協力隊訓練所開設45周年、誠におめでとうございます。

当市では、訓練所のあるまちとして、ネパールのポカラ市を始め、様々な国際交流事業が行われています。また、協力隊経験者や関係団体の活動を通じて、市民による国際交流の場が広がり、それらを活かしたまちづくりを進めてきております。

地域における国際感覚の醸成は、貴訓練所の活動の賜物であり、当地域の財産と言えます。任国で国際協力に貢献する人材の育成と協力隊経験の社会還元を体現する拠点として、貴訓練所が今後一層発展されますことを祈念申し上げます。

駒ヶ根協力隊を育てる会 会長 ^{いけざき たもつ} 池崎 保様



駒ヶ根訓練所の設立45周年を心よりお祝い申し上げます。

貴所の設立に伴い、駒ヶ根協力隊を育てる会は訓練所を地域の宝として市民の国際理解と交流を深めるために共に歩んできました。加えて、伊南地域の市民の協力を得て、協力隊諸君へのささやかな協力も継続してきた結果、今では駒ヶ根育てる会は全国でも最大規模の組織となった他、昨年8月には国際理解・交流促進に貢献したとのことで、外務大臣表彰の栄誉を受けました。これも一重に訓練所のご理解、ご協力のお陰です。今後共、訓練所と地域の市民の絆を深める触媒として活動して参りたいと思います。駒ヶ根訓練所の益々の発展を心からお祈り致します。

駒ヶ根協力隊を育てる会 元名誉会長 ^{こうさか たもつ} 高坂 保様



日本の国際協力を志す方々のメッカ、青年海外協力隊訓練所が駒ヶ根の地に設立されて45周年、この素晴らしい活動の歴史に、心よりお喜び申し上げます。私は長い事、訓練所の活動に関わらせていただき、70日間の訓練を経て心身ともに、国際ボランティアとしての資質を身につけられている姿に、本当に感動しております。また、この活動と訓練を通して、地域の国際感覚養成にも意を注いでくださることに感謝をしております。この素晴らしい施設が駒ヶ根にあることを誇りに思い、更なるご協力と交流を深めながら、訓練所の更なるご発展をお祈りいたします。

2024年度 派遣前訓練予定スケジュール

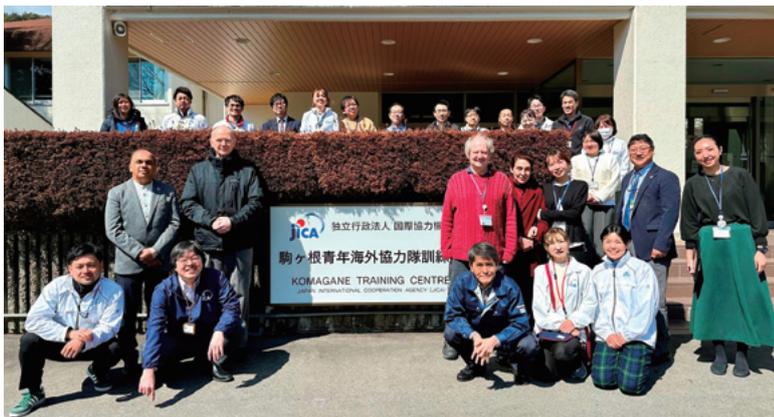
- 1次隊：4月16日～6月27日
- 2次隊：8月20日～10月31日
- 3次隊：1月7日～3月20日

※2024年度より3隊次制、訓練期間は73日となります。

施設訪問プログラム

VRルーム、ロビープロジェクション、緒方貞子ギャラリーなど、昨年4月からパワーアップした施設訪問プログラムも好評をいただいています！

施設訪問をご希望の方は、お早めのお申し込みをお願いします。詳しくはコチラから！➡



スタッフ一同皆さまのお越しをお待ちしております！



施設管理スタッフの守衛として、いつも訓練所を見守ってくださっている真庭さんに、訓練所での思い出や裏話を伺いました！

▶訓練所に勤務して何年になりますか？

➡2010年の3月からで、14年目になります。(真庭さんは現在いる7名の守衛さんの中で一番のベテラン！)

▶訓練所でのお仕事のやりがいを教えてください。

➡大勢の訓練生やスタッフと知り合い、安全第一、健康第一、明るく楽しく前向きに、防犯・防災・防火に気を付けながら、しっかりと施設の秩序を守ることです。

▶思い出に残っているエピソードなどはありますか？

➡訓練生が食堂横の駐車場で猿の集団に囲まれたのを、仲間と助けに行ったことが一番のエピソードですね。

▶駒ヶ根訓練所45周年のメッセージをお願いします。

➡仁田知樹 元所長からいただいている言葉で当訓練所の事を「全国から旺盛なチャレンジ精神を持った人達が集まって来るパワースポット」といつも紹介しています。駒ヶ根協力隊を育てる会の一員として、訓練所の益々の発展を祈念致します。

アニバーサリーロゴのご紹介！

この度、駒ヶ根訓練所開設45周年を記念して、訓練生やスタッフからロゴアイデアを募集し、多くのデザインの中からこちらのロゴが選ばれました！

作成してくれたのは、元講座担当の廣田夏来スタッフ。デザインに込めた思いを聞きました！



廣田さんコメント

「私も駒ヶ根訓練所のOGです。朝起きると、居室の窓から見える、きれいな大自然に心癒され、一日の活力を頂きました。駒ヶ根訓練所は駒ヶ根のきれいな大自然に見守られながら45年の時を共に歩んでいるんだなと、そんなイメージをもってこのロゴを作成しました。」

今年度末まで、様々な場面で45周年ロゴを使用します！皆さんお楽しみに！

2023年度JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト

最優秀賞の外務大臣賞を受賞された細井 美愛さん (学校法人文化長野学園 文化学園長野高等学校 1年) に インタビューを行いました！

エッセイタイトル『大河の一滴』

▶エッセイコンテストに応募したきっかけを教えてください。

➡昨年度、中学の生徒会で取り組んだ廃油石鹸の活動を、誰かに伝えられたらと思い応募しました。

▶廃油石鹸の活動を始めたきっかけは何ですか？

➡中学時代、生徒会長へ立候補した時、「一人一人の個性を活かす」というスローガンを掲げました。どんな活動なら一人一人の個性を活かす活動ができるかを考え、廃油石鹸なら生徒会で受け継いできた「私たちの海の豊かさを守る」という視点を変えずに、石鹸作りやパッケージに絵を描く時などに個性が活かせると考えました。

石鹸作りに関しては、地域の婦人会で廃油石鹸作りをしていた曾祖母に話を聞き、中学生が扱うには危険な薬品は、生徒会で話し合ったり先生方に聞いたりして代用品を考えて行いました。

▶今後、取り組んでいきたいことや将来の展望などありますか。

➡海外研修がとても楽しみです！初めての海外を経験し

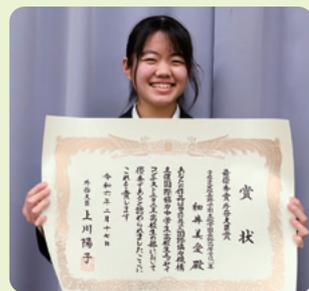
て、環境問題について考え、自分で探究していきたいと思っています。

将来のことはまだ決まっていらないのですが、法学部に進みたいと思っています。日本のルールやしぐみを知って、私が今までに得てきた知識や経験を生かせるような職業に就きたいと思います。

▶エッセイコンテストに応募しようか悩んでいる中高生の皆さんへメッセージをお願いします！

➡エッセイコンテストは絶対に応募した方がいいと思います。私は賞がとれるとは思っていませんでしたが、この賞をきっかけにたくさんの方と出会い、様々な視点で学びがありました。自分にとって大きなメリットになると思います。

細井さんのエッセイや他受賞作品はこちらのQRコードからお読みいただけます！是非ご覧ください。





Ola!こんにちは! 突然ですが皆さんは「ブラジル」と聞いて何を思い浮かべますか? 「サッカー」「カーニバル」「ビーチ」。。

もちろんそれらも素晴らしい国なのですが、実はブラジルは世界で最も日系の方々が暮らす国なんです。現在ブラジルには約200万人もの日本にルーツがある方々が生活していると言われています。地球儀で見ると日本の真反対



ブラジルで盆踊り

に位置するブラジルに、こんなにも多くの日本と関係のある人たちが住んでいるというのは驚きですね。私はそんな日系の人たちが生活する「第一アリアンサ」という人口約1000人(内日系人は約200人)の小さな村で子どもたちに日本語を教えています。現在ブラジルでは日系の子どもは4世、5世になり家で日本語を使う機会が少なくなっています。私がいる第一アリアンサ村も同様に、家で日本語を使う子どもたちが減り、年々子どもたちは日本語が話せなくなっています。そこで、日本語学校では遊びや折り紙、料理教室などのアクティビ

ティを取り入れて、楽しみながら日本語や日本の文化に触れる機会をつくっています。



アリアンサの皆さんと

さて、そんな「第一アリアンサ村」ですが、長野県と深い関係があるんです。なんと第一アリアンサ村をつくったのは長野県民なんです。1924年に最初の人たちが大変な苦勞をして、もともと原始林だったこの地を一から開拓して今の第一アリアンサ村があります。そんな第一アリアンサ村ですが、今年なんと開拓100周年を迎えます。現在、「開拓から100年経った『今』のアリアンサを残したい」と思い、村のインスタグラムを作成したり、村の人たちとクラウドファンディングをして資金を集めて100周年を盛り上げようとしていたりしています。

アリアンサの人たちはみんなが知り合いで、ことあるごとにシュハスコ(ブラジル版BBQ)をしたり誰かの誕生日会をしたりしてみんなで集まって楽しんでいます。小さな小さな村ですが、村の人たちだけで盆踊りをやり、野球やサッカーも盛んで、とても活気があります。そんなアリアンサの皆さんの温かさに日々支えられて活動をしています。そして、そんなアリアンサが今では大好きです。長野県と深い関係のあるアリアンサのことを少しでも多くの人に知ってもらおう活動も積極的に行っていきたいと思います。

JICA長野デスク・国際協力推進員のご紹介

みき ムーア 美紀さんが着任しました!

皆様こんにちは! JICA長野デスクムーアと申します。

私は上田市出身で、中学生の時の中国寧波市ジュニア大使国際友好都市親善交流団への参加がきっかけとなり、国際協力や異文化交流に興味を持ち、大卒後、JICA海外協力隊観光隊員としてタイで活動していました。そこでは、特産品の職人と協働し、観光客誘致・生計向上のための観光冊子の作成や体験プログラムの造成、帯の商品開発等、着地型観光の推進を行ってまいりました。コロナ禍の派遣で活動期間が短く想像通りにはいかなかったことも多かったのですが、いつも現地の方に助けて頂き、自分が教えるというよりも学ばせていただくことの方が多かったように感じました。

今後は、長野県におけるJICA事業の窓口として、

県内の皆様と楽しみながら、世界と繋がる活動のお手伝いできればと考えております。どうぞ宜しくお願いします。

配置先:長野県庁1階

(公財)長野県国際化協会内JICA長野デスク

メール:jicadpd_desk_nagano@jica.go.jp



タイ・協力隊時代(職人との体験プログラムの打ち合わせ時写真)

～ JICA 海外協力隊 2024 年春募集日程について～

■春募集期間

5月17日(金)～7月1日(月)正午締切

- ★4月25日(木):募集要項の公開(ウェブサイト)
:マイページ登録受付開始(ウェブサイト)
- ★5月11日(土):要請情報の公開開始(ウェブサイト)

・選考期間:7月上旬～10月下旬

いつか世界を変える力になる

JICA 海外協力隊

■長野県内募集説明会

- ★5月19日(日)10時～17時:
長野市 新小路カフェ
- ★6月2日(日)14時～16時:
松本市 信毎メディアガーデン1階ホール
- ★6月10日(月)19時～21時:
訓練所から生中継!オンライン説明会

応募検討中の方は、是非お気軽にご参加ください。

説明会の詳細やご予約はコチラから! →



2023年度4次隊(5名)

長野県出身JICA海外協力隊員

行ってきます!!

青年海外協力隊



さとう あつみ さん(松本市) 派遣国:セネガル 職種:助産師
セネガルの内陸にあるカフリンという地方都市で助産師として活動します。コミュニケーションなど不安はありますが、未知の環境にわくわくもしています。少しでもセネガルのお母さんと赤ちゃんの役に立てるよう、頑張ってきます。

シニア海外協力隊



こいけ ひづる さん(富士見町) 派遣国:タイ 職種:高齢者介護
タイは急速な高齢化で多くの課題を抱えており、私はその支援を目的に派遣されます。看護師として医療、介護、地域連携の場で培ってきた経験を活かした活動が出来ればと思います。美味しいタイ料理も楽しみです!

日系社会青年海外協力隊



たさざわ りょう さん(上田市) 派遣国:モンゴル 職種:作業療法士
モンゴルのリハビリテーション病院にて作業療法に携わりながら作業療法士への助言と作業療法の認知度を高めることを目的とした広報活動にも協力します。自分が役に立てることを探して取り組んでいきたいと思ひます!

海外協力隊



しもむら ち え こ さん(長野市) 派遣国:ホンジュラス 職種:保健師
首都のテグシガルパからバスで3時間半ほど南下した Choloma 市の「女性総合支援センター」で母子保健や若年妊娠対策、感染症予防、生活習慣病予防などの啓発活動を支援します。妊産婦の皆さんに寄り添い、健康増進に貢献します。



てづか かえで さん(塩尻市) 派遣国:ブラジル 職種:日本語教育
サンパウロ州にある日系社会の日本語学校で日本語教師として活動します。日系人、非日系人関係なく日本語や日本に興味を持ってもらえるよう活動を行い、日伯の関係をよりよいものにできるよう頑張りたいと思ひます。

スタッフ紹介



みみなさわ あつこ 広報・開発教育 南澤 敦子
昨年、駒ヶ根市に移住してきました。2月までは市内の小学校にお世話になり、子どもたちから毎日たくさんの元気と癒しをもらっていました。協力隊としては、2012年に村落開発普及員としてモロッコに派遣、主に女性グループの自立支援活動に取り組みました。美味しいソースカツ丼を食べてがんばります!よろしくお願ひします。



ひえい まゆみ 事務スタッフ 樋江井 真弓美
2024年3月21日からお世話になる事になりました。協力隊の経験はありませんが、しっかりサポート出来るように、日々励んで参りますので、よろしくお願ひいたします。

SBC信越放送ラジオに、長野県の協力隊OBOG・出発前隊員・JICA駒ヶ根スタッフが出演中!

毎月第3月曜日
13時13分～13時30分頃

【ミックスプラス】内コーナー「協力隊と巡る音楽世界旅行」

皆さま是非お聴きください!

毎月第4土曜日
8時22分～8時33分頃

【武田徹のつれづれ散歩道】内コーナー「地球色の窓を明けよう」



SBCラジオHP

2024年度 駒ヶ根訓練所 派遣前訓練人数実績

1次隊:166名入所予定

発行 独立行政法人 国際協力機構
駒ヶ根青年海外協力隊訓練所

〒399-4117 長野県駒ヶ根市赤穂15
TEL.0265-82-6151(代) FAX.0265-82-5336
E-mail jicakjv@jica.go.jp

～派遣前訓練の様子や各種イベント情報を発信中!～

JICA駒ヶ根 ホームページ

<https://www.jica.go.jp/domestic/komagane/>



JICA駒ヶ根 facebook ページ

<https://www.facebook.com/jicakomagane/>

